



IR1800 ルータのワイヤレス接続

この章では、Cisco Catalyst IR1800 高耐久性シリーズ ルータの内部スイッチインターフェイスおよびモジュール管理に対する、Wi-Fi カードの設定方法について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [IR1800 設定の概要 \(1 ページ\)](#)
- [WIM モジュール管理コマンド \(2 ページ\)](#)
- [通常のルータブートアップ \(2 ページ\)](#)
- [WIM モジュールの非アクティブ化と再アクティブ化 \(3 ページ\)](#)
- [工場出荷時の状態へのリセット \(3 ページ\)](#)
- [WIM の電源オフ \(4 ページ\)](#)
- [ルータコンソールを介した WIM との接続 \(5 ページ\)](#)
- [デフォルト WIM パスワード \(6 ページ\)](#)
- [WIM イメージタイプの決定 \(7 ページ\)](#)

IR1800 設定の概要

次に、製品設定の詳細の一部を示します。

- モジュールはサブスロット 0/3 に固定されています。
- AP と通信するための Wi-Fi インターフェイスは W10/1/4 と呼ばれます。
- デフォルトでは、W10/1/4 は VLAN 1 内に配置されます。
 - DHCP プールが VLAN1 上に設定されている場合、AP (および関連するクライアント) は IP アドレスを取得します。
- モジュールはホットスワップ非対応ですが、現場交換は可能です。
- モジュール挿入後にホストルータを手動でリロードする必要があります。

WIM モジュール管理コマンド

IOS XE ルータのコンソールから、モジュールのステータスを表示するために使用するコマンドは次のとおりです。

- show platform
- show inventory
- show hw-module subslot 0/3 attribute
- show logging

IOS XE ルータのコンソールからモジュールを設定するために使用するコマンドは、次のとおりです。

- hw-module subslot 0/3 maintenance enable | disable
- hw-module subslot 0/3 stop | start | reload [force]
- hw-module subslot 0/3 error-recovery password_reset
- hw-module session 0/3

通常のルータブートアップ

ホストルータがリロードされると同時に Wi-Fi モジュールの電源がオンになります。ホストが Wi-Fi モジュールから [ready] 信号を受信すると、Wi-Fi モジュールの状態が [booting] から [ok] に変わります。次に例を示します。

```
#show platform
Chassis type: IR1835-K9
Slot      Type              State              Insert time (ago)
-----
0         IR1835-K9         ok                 15:25:47
0/0      IR1835-1x1GE     ok                 15:23:37
0/1      IR1835-ES-4      ok                 15:23:36
0/3      WP-WIFI6-B       ok                 00:00:07
R0       IR1835-K9         ok, active        15:25:47
F0       IR1835-K9         ok, active        15:25:47
P0       PWR-12V          ok                 15:23:59
GE-POE   Unknown          ok                 15:23:59

# show logging
Apr  6 18:05:41.992 CST: %IOSXE_OIR-6-INSSPA: SPA inserted in subslot 0/3
Apr  6 18:05:54.886 CST: new extended attributes received from iomd(slot 0 bay 3 board 0)
Apr  6 18:05:55.226 CST: %SPA_OIR-6-ONLINECARD: SPA (WP-WIFI6) online in subslot 0/3
```

WIM モジュールの非アクティブ化と再アクティブ化

WIM モジュールは、非アクティブ化しなくてもルータから取り外せます。ただし、モジュールを取り外す前に、モジュールを正しい手順で非アクティブにする（または正しい手順で電源をオフにする）ことを推奨します。EXEC モードで次のコマンドを使用します。

1. `hw-module subslot 0/3 stop`



(注) `hw-module subslot 0/3 stop` コマンドを使用してモジュールを非アクティブにした後に、モジュールを再アクティブ化するには、次のいずれかのコマンドを（特権 EXEC モードで）使用します。

2. `hw-module subslot 0/3 start`

3. `hw-module subslot 0/3 reload [force]`

表 1: `hw-module subslot` コマンドオプション

| コマンド | 説明 |
|---------------------|---|
| <code>reload</code> | 指定したモジュールを停止してから再起動します。 |
| <code>stop</code> | モジュールからすべてのインターフェイスを削除し、モジュールの電源をオフにします。 |
| <code>start</code> | 指定のスロットに物理的に装着されたモジュールの場合と同様に、モジュールの電源をオンにします。モジュールファームウェアがリブートされ、モジュール初期化シーケンス全体が実行されます。 |

工場出荷時の状態へのリセット

ユーザーは、ホストルータから次のコマンドを実行して、WIM を初期設定にリセットできます。

```
Router# hw-module subslot 0/3 error-recovery password_reset
```

上記のコマンドは、WIM をメンテナンスモードに設定します。



- (注) **hw-module subslot 0/3 error-recovery password_reset** コマンドを実行すると、AP モジュールが自動的にリロードして設定を復元し、メンテナンスモードを開始します。メンテナンスモードでは、AP モジュールは電源オンモードです。コンソールまたは Web UI を使用して、モジュール設定のリセットを確認します。AP をリロードしてメンテナンスモードを終了するには、**hw-module subslot 0/3 reload force** コマンドを発行する必要があります。

次に、工場出荷時の状態へのリセットシーケンスを示します。

```
Router# hw-module subslot 0/3 error-recovery password_reset
```

1. WIM がリロードされます。
2. WIM はメンテナンスモードに設定され、アウトオブサービスと表示されます。

```
Router# show platform
Chassis type: IR1835-K9
Slot   Type           State           Insert time (ago)
0      IR1835-K9        ok              00:54:57
0/0    IR1835-1K1GE    ok              00:52:49
0/1    IR1835-ES-4     ok              00:52:46
0/3    WP-WIFI6-B      out of service 00:34:24
R0     IR1835-K9        ok, active      00:54:57
FO     IR1835-K9        ok, active      00:54:57
PO     P-R-12V          ok              00:53:09
GE-P06 Unknown          ok              00:53:09
```

ユーザーは約 30 秒待つてから、次のコマンドを使用します。

```
Router# hw-module subslot 0/3 reload force
```

1. WIM がリロードされます。
2. WIM がメンテナンスモードを終了します。WIM が OK 状態になるまで待ちます。

```
Router#show platform
Chassis type: IR1835-K9
Slot   Type           State           Insert time (ago)
0      IR1835-K9        ok              00:56:50
0/0    IR1835-1X1GE    ok              00:54:42
0/1    IR1835-ES-4     ok              00:54:39
0/3    WP-WIFI6-B      ok              00:01:36
```

WIM の電源オフ

WIM が 20 分以内に 5 回リロードされた場合（連続するソフトウェアクラッシュなど）、ホストルータは WIM の電源をオフにします。

```
*Apr 7 10:34:57.412 CST: %SPA_OIR-6-ONLINECARD: SPA (WP-WIFI6) online in subslot 0/3
*Apr 7 10:36:19.021 CST: %SPA_OIR-6-OFFLINECARD: SPA (WP-WIFI6) offline in subslot 0/3
*Apr 7 10:37:59.128 CST: %SPA_OIR-6-ONLINECARD: SPA (WP-WIFI6) online in subslot 0/3
*Apr 7 10:39:18.942 CST: %SPA_OIR-6-OFFLINECARD: SPA (WP-WIFI6) offline in subslot 0/3
*Apr 7 10:41:00.072 CST: %SPA_OIR-6-ONLINECARD: SPA (WP-WIFI6) online in subslot 0/3
*Apr 7 10:42:15.864 CST: %SPA_OIR-6-OFFLINECARD: SPA (WP-WIFI6) offline in subslot 0/3
```

```
*Apr 7 10:43:57.507 CST: %SPA_OIR-6-ONLINECARD: SPA (WP-WIFI6) online in subslot 0/3
*Apr 7 10:45:06.049 CST: %SPA_OIR-6-OFFLINECARD: SPA (WP-WIFI6) offline in subslot 0/3
*Apr 7 10:46:46.167 CST: %SPA_OIR-6-ONLINECARD: SPA (WP-WIFI6) online in subslot 0/3
*Apr 7 10:48:12.425 CST: %SPA_OIR-3-SPA_POWERED_OFF: subslot 0/3: SPA WP-WIFI6 powered
off after 5 failures within 1200 seconds
*Apr 7 10:48:12.425 CST: %SPA_OIR-6-OFFLINECARD: SPA (WP-WIFI6) offline in subslot 0/3
```

```
Router# show platform
Chassis type: IR1835-K9
Slot      Type                State                Insert time (ago)
-----
0         IR1835-K9            ok                   16:45:16
0/0      IR1835-1x1GE        ok                   16:43:06
0/1      IR1835-ES-4         ok                   16:43:05
0/3      WP-WIFI6-B          out of service      00:00:39
R0       IR1835-K9            ok, active           16:45:16
F0       IR1835-K9            ok, active           16:45:16
P0       PWR-12V              ok                   16:43:28
GE-POE   Unknown              ok                   16:43:28
```

ルータコンソールを介した WIM との接続

WIM に接続するには、まずコンソール、SSH プロトコル、または Telnet プロトコルを介してホストルータへの接続を確立します。

次に、ホストルータからアクセスポイントにリダイレクトします。次の例を参照してください。

```
Router# hw-module session 0/3
Establishing session connect to subslot 0/3
To exit, type ^a^q <-This sequence to disconnect is Ctrl-a Ctrl-q
picocom v3.1
port is: /dev/ttyWIFI
flowcontrol: none
baudrate is: 9600
parity: none
databits are: 8
stopbits are: 1
escape is: C-a
local echo is: no
noinit is: no
noreset is: no
hanguap is: no
nolock is: yes
send_cmd is: sz -vv
receive_cmd is: rz -vv -E
imap is:
omap is:
emap is: crcrlf,delbs,
logfile is: none
initstring: none
exit_after is: not set
exit is: no
Type [C-a] [C-h] to see available commands
Terminal ready
Username:
```

次の手順を実行して、アクセスポイントから切断します。

```

issue ^a^q <-This sequence to disconnect is Ctrl-a Ctrl-q
Username:
Terminating...
Skipping tty reset...
Thanks for using picocom
Router#

```

デフォルト WIM パスワード

WIM のデフォルトのパスワードは、モードとソフトウェアリリースによって異なります。

WIM CAPWAP AP パスワード

CAPWAP AP のデフォルトのログイン情報は次のとおりです。

- ユーザー名 : **cisco**
- パスワード : **cisco**
- イネーブルパスワード : **cisco**

WIM EWC パスワード

Embedded Wireless Controller のデフォルトのログイン情報は次のとおりです。

- ユーザー名 : **webui**
- パスワード : **cisco**



(注) これらのログイン情報は、Over-the-Air セットアップウィザードへの UI アクセス、または SSH/CLI ベースの Day-0 プロビジョニングで使用できます。

WIM WGB パスワード

WIM の WGB モードのデフォルトパスワードは、ルータと WIM ソフトウェアリリースによって異なります。詳細は次の表に記載します。

表 2:

| IR1800 の IOS XE リリース | WIM の IOS XE バージョン | デフォルトパスワード |
|----------------------|--------------------|---|
| 17.9.x 以前 | すべて | ユーザー名 : cisco パスワード : cisco イネーブルパスワード : cisco |

| IR1800 の IOS XE リリース | WIM の IOS XE バージョン | デフォルトパスワード |
|----------------------|--------------------|---|
| 17.10.1 以降 | 17.7.1 以前 | ユーザー名 : cisco パスワード : cisco イネーブルパスワード : cisco |
| | 17.8.1 以降 | ユーザー名 : Cisco1 パスワード : GigabitEth01! イネーブルパスワード : AppleTree01@ |

WIM イメージタイプの決定

IOS XE 17.11.1 の AP イメージが導入される前は、Wi-Fi モジュール WGB、CAPWAP イメージ (apl8) を使って AP タイプの変換 (CAPWAP モードまたは WGB モードへの切り替え) を行っていました。

IOS XE 17.11.1 以降には、Unified Industrial Wireless (UIW) イメージと呼ばれる新しいイメージタイプがあります。このイメージは apl8t-k9c1 と呼ばれます。この新しいソフトウェアイメージでは、WGB とルート AP 機能による無線機の同時使用が可能です。

イメージタイプの決定

次のコマンドを使用します。

| コマンド | イメージタイプ |
|--|-------------|
| AccessPoint# sh version inc AP Cisco AP Software, (apl8) | CAPWAP イメージ |
| AccessPoint# sh version inc AP Cisco AP Software, (apl8t), C6, RELEASE SOFTWARE. | UIW イメージ |
| AccessPoint# show version include AP AP Image type: EWC-AP IMAGE AP Configuration: NOT ME OR EWC-AP CAPABLE | EWC イメージ |

CAPWAP イメージの実行時に **UIW** イメージがインストールされているかどうかを特定する

次のコマンドを使用します。

| コマンド | イメージタイプ |
|---|-----------------------|
| AccessPoint# configure boot mode wgb Image swapping will restore the device to factory settings. Are you sure to proceed? (y/n) n Process Canceled! | UIW イメージがインストールされている |
| AccessPoint# configure boot mode wgb Error: Unified client image missed. | UIW イメージがインストールされていない |

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。